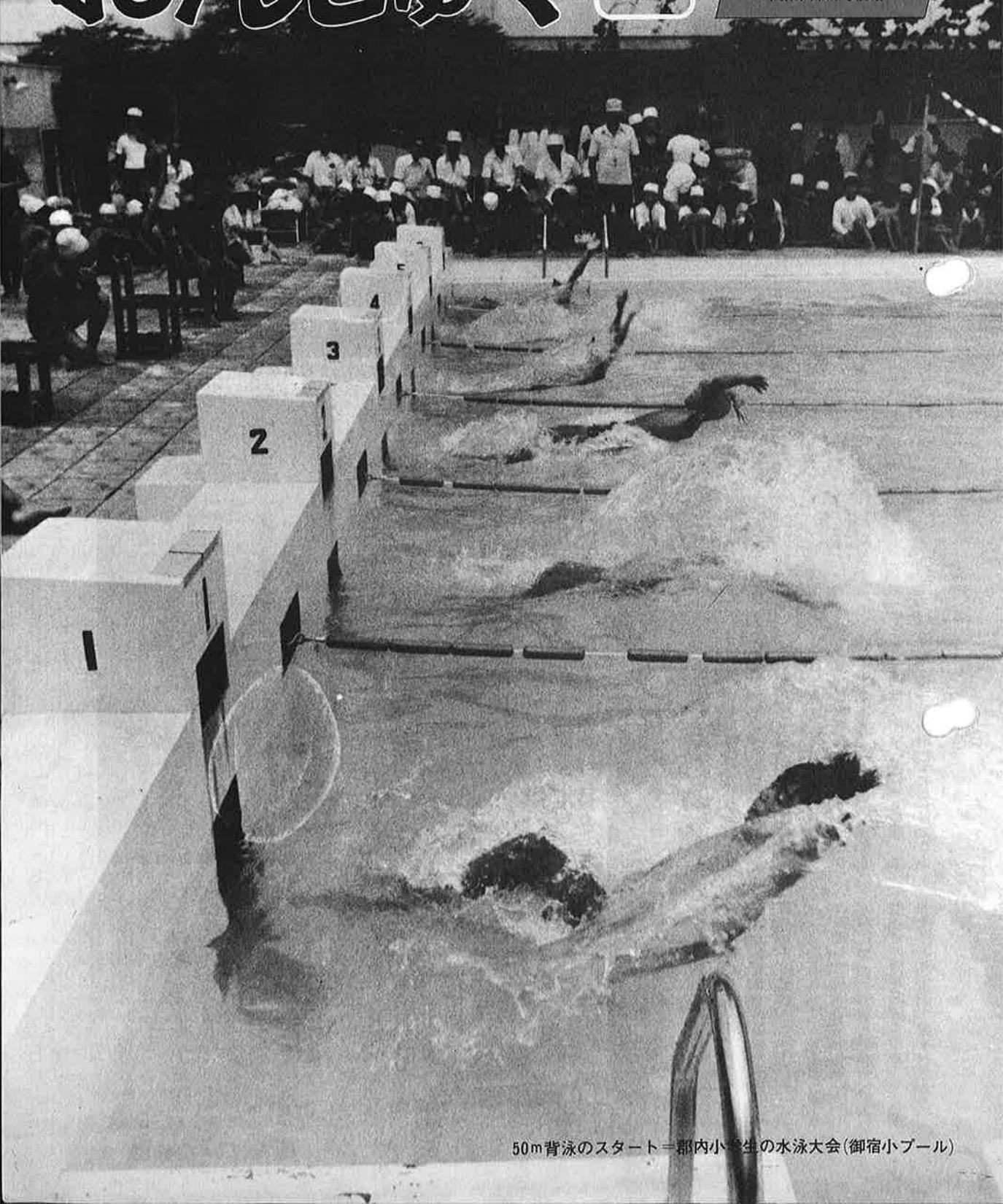


おんじゆく

8

昭和51年8月
第155号

千葉県御宿町役場



50m背泳のスタート=郡内小学生の水泳大会(御宿小プール)



縮少ぎみの建設事業のなかで漁港整備や保育所(写真)など住民に直結した重点事業が行われました

実質黒字は1億円強 建設事業減り人件、扶助費ふえる

ここ数年来いちばん財政運営がむずかしいといわれた五十年度の決算見込みの概要がまとまりました。予算の編成方針でもふれたように財政の健全性の確保を大前提として編成された予算ですが、それがどういう形で決算として現わってきたかをなるべくわかりやすく説明して、みなさんのご批判をいただきたいと思います。

②財政構造が弾力的である
③行政水準の向上が図られている

という三つの要素がそなわっていなければ健全性とはいえません。それでは、収支の均衡ということは、実質的収支額の多少が後の一 年度にどのように財源調整されでいるかを見るべきでしよう。

財政健全性の見方

財政の健全性ということばをよく耳にしますが、それは

①收支の均衡が保たれている

財政構造の弾力性は、経常的な収入と支出の比率はどうか。義務的経費（人件費、扶助費、公債費）経常的経費の比率によって判断されます。さらにこれらの比率のうちづけとなるものとして、一般財源、公債費（地方債の比率）地方債の現在高などからも知ることができます。

財政の黒字基調が続く

五十年度決算の歳入総額（一般会計、ブール特別会計——これらを普通会計とよびます）は十億三千九十七万六千円。歳出総額九億二千二百九十五万八千円。差引き一億八百一萬八千円の黒字となりました。このうち、二百五十九万九千円は今年度へ繰越す事業（漁港）の一部の財源として使われま

すから実質的な帳じりは一億五百四十一万九千円の黒字で、この額がそのまま五十年度の予算の財源として活用されるわけです。

一億円台という大きな額の剩余の実態をさらに細まかく分析してみますと、このなかには四十九年度からの繰越財源である八千五百九十一万九千円が含まれており、

実質収支の状況

(千円)

区分	昭和50年度	昭和49年度	増加額	増加率
歳入総額①	1,030,976	1,000,272	30,704	3.1%
歳出総額②	922,958	910,978	11,980	1.3
差引①-②③	108,018	89,294	18,724	21.0
翌年度へ繰越財源④	2,599	3,375	△776	△23.0
実質収支③-④⑤	105,419	85,919	19,500	22.7
単年度収支⑥	19,500	△6,304	25,804	409.3
積立金⑦	5,784	3,494	2,290	65.5
実質単年度収支⑧+⑨	25,284	△2,810	28,094	1,000.0

歳入

入

(千円)

区分	決算額	構成比	増加率	経常一般財源
地方税	187,905	18.2%	7.0%	187,890
地方廳与税	6,506	0.6	13.4	6,506
自動車交付金	9,139	0.9	20.6	9,139
地方交付税	294,309	28.5	4.7	273,384
内訳	273,384	26.5	4.2	273,384
普通	20,925	2.0	11.8	
特別	497,859	48.2	5.9	476,919
小計	915	0.1	30.0	915
交通安全交付金	15,295	1.5	△34.0	
使 用 料	23,611	2.3	△16.7	
手 数 料	5,135	0.5	4.0	
国庫支出金	141,074	13.7	△0.8	
県支出金	102,342	9.9	30.9	
財産収入	41,930	4.1	134.3	
寄付金	1,750	0.2	△8.8	
繰入金	4,450	0.4	△49.7	
繰越金	89,294	8.7	23.6	
諸収入	75,021	7.3	1.4	
地 方 債	32,300	3.1	△50.0	
合 計	1,030,976	100.0	3.1	477,834
微収率	区 分	現年課税分	滞納繰越分	合 計
	市町村民税	99.5%	86.9%	99.5%
	固定資産税	97.4%	99.4%	97.4%

率が普通一〇パーセント以内なら

りません。

◇公債費 町が建設事業などを行なう場合、財源的にきゅうくつな場合、国や金融機関などから資金の借り入れをします。この場合、その年度内に返済するものを一時借入金といいます。これに対して一年以上の借り入れを（長期借入金）といい地方債とよばれています。借り入れ資金の元利償還金を公債費という科目で経理します。この償還金について、一定の算式によって、その負担の状況を知ることができます。そして、この比

財政の健全性をおびやかさないといわれています。比率は当然低い方が望ましいわけで、この比率が高い場合、やはり財政の健全性がそこなわれているわけで、このうえ、新規の起債をする場合には、後年度の財政負担をますます増すことになり、財政構造を悪化することになります。ことになります。

地方債を発行する場合、その団体の財政能力をかえりみず安易に起債に財源を求め、財政能力以上に借金政策はつしまなければな

五十年度だけの収支では千九百五十万円と財政調整基金の積立金五百七十八万四千円を合せた二千五百二十八万四千円が実質的な単年度（五十年度）の収支の黒字となります。

つぎに経常的な収入というのはどのようなものがあるかみてみましょう。

目的税（入場税）を除いた町税自動車重量譲与税、自動車取得税交付金、普通地方交付税、交通安

全対策特別交付金、ほかに建設事業や臨時の経費の財源として収入されるもの以外の収入です。

経常的支出は、人件費（災害補償費を除く）、維持修繕費、扶助費（減税補てん債、災害復旧事業債）補助費などです。経常的

に占める割合がどうかによって、財政に弾力性があるかどうかの判断となります。

扶助費、公債費で、これらが支出の受給のための掛け金が千四百十三万六千円、退職金一時金八千円。その他は公務災害の補償のための掛け金など百六十五万円。歳出決算額中義務的経費が四一・九パーセントを占めており特に

未勤勉、通勤、住居、児童、その他手当で、四千七百六万千瓦、特殊勤務（清掃職員）宿日直、期断となります。

職員一人当たり給料額は十二万五百円（一般職員）で平均年齢三十五・八歳、これをここ数年県下全体の傾向からみると市部など人口規模の高いところほど職員の年齢が若く、人口一万から二万ぐらいいの町村の年齢が高くなっています。

職員一人当たり給料額は十二万五百円（一般職員）で平均年齢三十五・八歳、これをここ数年県下全体の傾向からみると市部など人口規模の高いところほど職員の年

齢が若く、人口一万から二万ぐら

いの町村の年齢が高くなっています。

基本給は一億にせまる

◇人件費 人件費は大きくなれば六つの項目に分類できます。

町長や助役、収入役の給料など

・九パーセントを占めており特に

借金政策はやや改善へ

財政の健全性をおびやかさないと

いわれています。

比率は当然低い

方が望ましいわけ

で、この比率が

高い場合、やはり財政の健全性が

そこなわれているわけで、このう

え、新規の起債をする場合には、

後年度の財政負担をますます

高度経済成長時のような所得の伸びやあるいは土地譲渡による所

得などの期待できない昨今、借金政策はなるべくひかえめにしたいものです。

地方債の償還財源がかさみ、住民サービスの低下を招くようなことがあつてはなりません。

張旅費や各種委員や議員などの出張旅費、視察旅費です。

需用費は、消耗品、修繕、印刷製本、燃料、光熱水費、食糧費などからなっています。

役務費は、通信運搬費など。

委託料は測量調査、健康診断等

反対給付のあるものとされています。このような経費は町やその職場の職員の努力によって、経費の節約をすることが比較的容易なので、各種補助金などとともにこ

れら経費を削減することは冗費の軽減とよばれ、ここ一二、三

年国や各自治体で真剣にこの削減を行つてきました。

物件費に六千万円

◇物件費、補助費など これも

当然経常的経費に入りますが、町が行政活動を行うために必要な固定的な経費です。ですから、このような経費が多いとそれだけ建設事業などにお金をまわすことができず、住民サービスの向上に役立たないことがいえます。

物件費には、賃金

旅費、交際費、需用

費、役務費、備品購入費、委託料、その他

に分けられます。賃金

は臨時に雇われた人に支払われるもの

ので、ブルの従業員などがおもなものです。

旅費は、職員の出

人件費の内訳 (千円)

区分	決算額
1. 議員報酬手当	15,782
2. 委員会等報酬	14,765
3. 市町村長特別職の給与	14,044
4. 職員給	146,218
(1) 基本給	99,057
(ア) 給料	95,861
(イ) 扶養手当	3,196
(2) その他の手当	47,161
時間外勤務手当	1,131
管理職手当	1,045
特殊勤務手当	611
宿日直手当	628
期末勤勉手当	41,859
通勤手当	853
住居手当	582
児童手当	180
その他	272
5. 地方公務員共済組合負担金	14,136
6. 退職金	10,708
退職手当組合負担金	10,708
7. 災害補償費	1,650
(1) 地方公務員災害補償基金負担金	1,450
(2) その他の	200
人件費合計	217,303
事業費支弁に係る職員の人件費	
1. 普通建設事業費	1,433
2. 災害復旧事業費	18

物件費 (千円)

区分	決算額
(1) 物件費の状況	1. 賃金 4,904
	2. 旅費 3,007
	3. 交際費 1,741
	4. 需用費 38,881
	5. 役務費 1,296
	6. 備品購入費 5,317
	7. 委託料 3,525
	8. その他 428 計(1~8) 59,099
上記のうち経常的なもの	1. 賃金 4,343
	2. 旅費 2,996
	3. 交際費 1,741
	4. 需用費 37,742
	5. 役務費 1,279
	6. 備品購入費 5,201
	7. 委託料 2,764
	8. その他 115 計(1~8) 56,181

性質別歳出 (千円)

区分	決算額	構成比	増加率	税等
人件費	217,303	23.5%	14.1%	166,861
うち職員給	146,218	15.8	14.1	98,853
扶助費	38,292	4.2	25.6	6,301
公債費	38,311	4.2	12.4	33,599
元利償還金	38,311	4.2	12.4	33,599
義務的経費小計	293,906	31.9	15.2	206,761
物件費	59,099	6.4	20.2	31,529
維持修繕費	5,241	0.6	△1.9	5,029
補助費等	126,981	13.8	7.6	116,040
経常的経費小計	485,227	52.7	13.5	359,359
積立金	5,784	0.6	65.5	
投資的経費	351,010	38.0	△15.1	102,181
うち人件費	1,451	0.2	12.7	1,451
普通建設事業費	344,769	37.3	△6.3	100,528
内補助	189,105	20.5	△10.4	14,420
訳単独	155,664	16.8	△0.9	86,108
災害復旧事業費	6,241	0.7	△86.3	1,653
合計	922,958	100.0	1.3	476,675

市町村税 (千円)

区分	決算額	構成比	増加率	税等
議会費	20,196	2.2%	16.2%	20,196
総務費	149,138	16.2	5.8	120,541
民生費	179,516	19.5	91.3	43,162
衛生費	112,701	12.2	18.6	41,617
農林水産業費	177,932	19.3	46.1	31,008
商工費	26,146	2.8	△20.3	14,923
土木費	104,411	11.3	24.6	65,407
消防費	15,160	1.6	△42.1	14,249
教育費	93,193	10.1	△57.6	90,307
災害復旧費	6,241	0.7	△86.3	1,653
公債費	38,324	4.1	12.4	33,612
合計	922,958	100.0	1.3	476,675

適用税率の状況

市町村民税	個人分	均等割	200円	法人分	均等割	4,000円
所得割			標準税率に対する比率	1.0	法人税割	12.1/100

とけあう御宿と野沢の心



太平洋へ、船が大きくゆれるたびにところかまわず、しがみつく子どもたち



雨の御宿駅へ降りた野沢温泉村の子どもたち

海と山の子どもの交流第二回目の行事は、八月九日から十一日までの三日間、岩和田海岸を中心に、野沢温泉村の児童、生徒百十六人、他に役員、P.T.A.の関係者二十三人を招き、盛大にしかも終始楽しいふんい気のなかで行われ、十一日午後七時、無事幕を閉じました。

樂しかった三日間の交流の模様を再録し、御宿に野沢の人々のあたたかい心のつながりを永く記録にとどめることにしました。

二月四日から三日間、御宿生徒が雪の野沢を訪れたのが第一回の交流で、以来実行委員会（金井英一郎会長）は会合を重ね、受け入れ体制をねりました

みなさんようこそ、 資料館で歓迎式

八月十日（二日目） 計画によ

八月九日（第一回） より
よやつてきました。まず最初のア
クシデントは、雨の襲来でした。
八月のこのころの天候は、まず九
分通り快晴を予想していましたが
意外にも雨の幕明けとなつてしま
いました。
午後四時四十九分、御宿駅着の
行委員長は、「きょうの雨は残念だ
交流の時のお礼や歓迎のあいさつ
をしました。
「美しい砂浜、青い海、きれい
な空気の御宿で楽しく遊んでくだ
さい」とそれぞれの人が歓迎のこ
とばを述べました。最後に金井実
行委員長は、「きょうの雨は残念だ

八月のこのころの天候は、ますます美しい砂浜、青い海、きれいな空気の御宿で楽しく遊んでください」とそれぞれの人が歓迎のことを述べました。最後に金井美行委員長は「きょうの雨は残念だがあすからは必ずすばらしいお天気にしてみせる、お約束します。そして、まつ青な海とまつ白な砂浜を皆様におみせします」と力説しました。

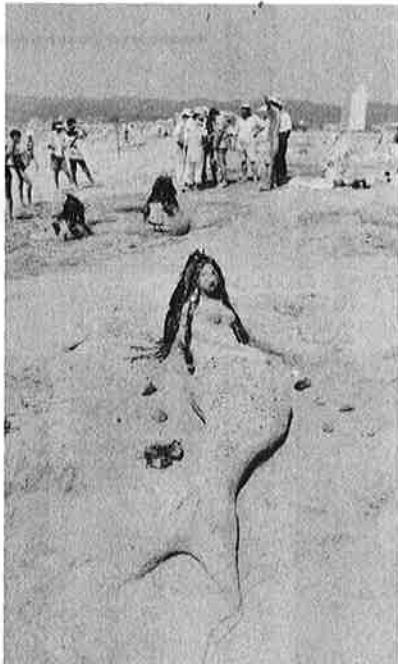
午後四時四十九分、御宿駅着の列車が四十五分ごろ到着してしまいました。これが二度目のアクシデントでした。地元の人たちが迎えにでないうちに野沢温泉村と書かれた青い旗をもつた一団が駅のブリッヂを渡つてきました。役場前広場に歓迎式場を用意し、歓迎式典は、約三十分で終わり、役場のスクールバスでそれぞれ六

行委員長は、「きょうの雨は残念だがあなた方は必ずすばらしいお気にしてみせる、お約束します。そして、まつ青な海とまつ白な砂浜を皆様におみせします」と力説しました。

庄巻！漁船で
『太平洋横断』

八月十日（二日目）計画によ

車の民宿へ先宿し おくることになりました。 夜を 来町第 『太平洋横断、 压巻！漁船で



砂の芸術で見事 一位に入賞した人魚の力作

えび網を手入れする
漁師のあざやかな手
さばきを見入る



みなれない海の幸にび
っくり、食べておいし
いのに二度びっくり

すつかり旅の疲れもいえたとみえ
宝を探してた子どもたちのあち
こちから歓声がこきえはじめまし
た。

十時からは待望の漁船に乗って
太平洋を横断する時です。山の子
野沢の児童、生徒にとつて海はめ
ずらしくはないという。しかし太
平洋ははじめてです。しかも漁船
に乗るのも。この時のくるのをみ
んなが小さな胸に手をあてて、何
日も前から指おり数えていたにち
がいありません。

この日は天候はよかつた。しか
し台風の余波だろうか、波は相当
に高い。怒どうとかまく太平洋と
いつたらいい過ぎだらうか。とに
かく山のような波が（野沢の子ど
もたちはそう見えたかもしぬな
い）いくえにもおり重なつて、陸
をめがけて押寄せてくる感じでし
た。日焼けした船長さんたちが、
手ぎわよく船をあやつり、子ども
らはたくましい船長さんを見て安
心したようす。

漁船に続々とエンジンの音が響
き動きだしました。一隻また一隻
と漁港をはなれ、外海へむけて出
ていきました。その数十四隻。船
頭さんたちの適切な行動と親切な
説明を熱心に聞きながら、したい

に沖合へ進んでいきました。二メ
ートルもあるうか、大きな波の山
が次々におしよせてきます。船が
シーノーのように上へ下へゆれて
います。そのたびに大歓声がおこ
りました。およそ二十分網代湾の
沖合いを船がいききしているうち
にやがて帰港の時間がきました。
船着場に着いた子どもたちを次々
に抱きかかえるようにして下船を
させます。船頭さんありがとう
の声が続きました。陸におりた子
どもたちはもう一度乗りたいとも
らしていました。乗船前に船酔い
の薬を一人一人のんだがあまりの
興奮と楽しきで誰一人酔う子がい
ませんでした。

次は海水浴です。慎重な準備運
動を終え、漁港内で初泳ぎです。
野沢の子どもたちはじょうずに泳
ぎました。岩場で「かに」をみつ
け歓声をあげる子どももいました。
数十分の初泳ぎが終わって、海岸
売店で中食をとりました。十二分
に体を動かした後だけに、食事が
おいしかったことだらう。

午後からはスイカ割りがはじま
りました。大きなスイカが続々と
砂浜にならべられていく。太い青
竹をもつて目かくしをされた子ど
もが右に左に獲物を求めて慎重に

に冲合へ進んでいきました。二メ
ートルもあるうか、大きな波の山
が左だ、もう一步前だと大声援。
おとなはうそをいって、子どもを
まどわす。ビシッ！とぶい音が
してスイカが割れると一段と大き
な声援があがりました。わったス
イカはその場でバクつきました。
午後四時三十分御宿を紹介する
ためメキシコ塔へのぼりました。
御宿の町並みを一望できる高台に
あがった子どもたちは午前中船出
した港をみおろし船遊びの楽しき
を思い出しているようすでした。

金井実行委員長の説明するメキシ
コ塔にまつわる史実をききながら
今から三百六十数年も前に起きた
うるわしい出来ごとにうなづいて
いました。

「君たちが船出したのは陸から
ほんのわずかなところです。三百
数十年前に外国人の人たちは見ず
知らずの国を探検し、地球が丸い
ことを確かめました。君たちも、も
つともっと大きな夢を抱いて大き
く飛躍してほしい」と飛びました。

午後六時予定通り二日目の行事
を終え各宿舎に帰り、おなかをす
かした子どもたちは、おいしい海
の幸に舌つづみを打ちました。子
どもらはきっとと楽しい夢をみな
ら眠ることだらう。

『さようなら、 町民の目に涙

各役員が沖合いにならび十分な監視体制をしきました。子どもたちも疲れを忘れ、最後の太平洋の水泳に興じました。

午後四時より帰る準備。海岸売店のシャワーを浴び塩辛い体を水でぬぐいました。

帰りは都バス三台に分乗するようになりました。六時二十分ごとになっています。八月十一日（三日目）いよいよ最終日です。三日間があつとすぎようとしています。初日に海の状況がわるく変更された、えび網漁の作業を朝五時に見学しました。

連日の活動でいささか疲れたのか朝八時三十分からの予定の砂芸術は少しのびました。その間、会場の浦井海岸を町職員や青少年相談員、役員総出で清掃しました。

十二班に分かれ、渚に思い思いの動物などが次々とできてきました。制限時間は一時間、赤い小さなバケツとスコップが配られました。御宿中の生徒たちがアシスタントとして助言にあたりました。

亀、らくだ、クジラ、人魚と趣向をこらした作品ができあがりました。審査員の審査がはじまり、町長賞、議会議長賞、観光協会長賞、商工会長賞などが優秀作品に与えられました。

いよいよ最後の水泳がはじまります。役場職員や青少年相談員、

各役員が沖合いにならび十分な監視体制をしきました。子どもたちも疲れを忘れ、最後の太平洋の水泳に興じました。

午後四時より帰る準備。海岸売店のシャワーを浴び塩辛い体を水でぬぐいました。

帰りは都バス三台に分乗するようになりました。六時二十分ごとになっています。八月十一日（三日目）いよいよ最終日です。三日間があつとすぎようとしています。初日に海の状況がわるく変更された、えび網漁の作業を朝五時に見学しました。

連日の活動でいささか疲れたのか朝八時三十分からの予定の砂芸術は少しのびました。その間、会場の浦井海岸を町職員や青少年相談員、役員総出で清掃しました。

十二班に分かれ、渚に思い思いの動物などが次々とできてきました。制限時間は一時間、赤い小さなバケツとスコップが配られました。御宿中の生徒たちがアシスタントとして助言にあたりました。

亀、らくだ、クジラ、人魚と趣向をこらした作品ができあがりました。審査員の審査がはじまり、町長賞、議会議長賞、観光協会長賞、商工会長賞などが優秀作品に与えられました。

午後四時より帰る準備。海岸売店のシャワーを浴び塩辛い体を水でぬぐいました。

帰りは都バス三台に分乗するようになりました。六時二十分ごとになっています。八月十一日（三日目）いよいよ最終日です。三日間があつとすぎようとしています。初日に海の状況がわるく変更された、えび網漁の作業を朝五時に見学しました。

連日の活動でいささか疲れたのか朝八時三十分からの予定の砂芸術は少しのびました。その間、会場の浦井海岸を町職員や青少年相談員、役員総出で清掃しました。

十二班に分かれ、渚に思い思いの動物などが次々とできてきました。制限時間は一時間、赤い小さなバケツとスコップが配られました。御宿中の生徒たちがアシスタントとして助言にあたりました。

亀、らくだ、クジラ、人魚と趣向をこらした作品ができあがりました。審査員の審査がはじまり、町長賞、議会議長賞、観光協会長賞、商工会長賞などが優秀作品に与えられました。

午後四時より帰る準備。海岸売店のシャワーを浴び塩辛い体を水でぬぐいました。

帰りは都バス三台に分乗するようになりました。六時二十分ごとになっています。八月十一日（三日目）いよいよ最終日です。三日間があつとすぎようとしています。初日に海の状況がわるく変更された、えび網漁の作業を朝五時に見学しました。

連日の活動でいささか疲れたのか朝八時三十分からの予定の砂芸術は少しのびました。その間、会場の浦井海岸を町職員や青少年相談員、役員総出で清掃しました。

十二班に分かれ、渚に思い思いの動物などが次々とできてきました。制限時間は一時間、赤い小さなバケツとスコップが配られました。御宿中の生徒たちがアシスタントとして助言にあたりました。

亀、らくだ、クジラ、人魚と趣向をこらした作品ができあがりました。審査員の審査がはじまり、町長賞、議会議長賞、観光協会長賞、商工会長賞などが優秀作品に与えられました。

町民の「人情接待」に感謝

◇実行委員長金井英一郎さん
の話 最盛期なので心配したの
ですが町民のみなさまのご協力

で二月の野沢におどらない「人情接待」ができました。すばらしい、感動的な交流となりました。

やりくり算段して泊泊を引き受けた六軒の民宿のみなさん

◇野沢温泉村実行委員長富井馨
さんからの礼状（前略）本当に
親戚の子どもが来たように迎えてくれた十五軒の海岸休憩所のみなさん、心はひとつ、ガッチリと頼みをあげて進む漁船団の勇壮さに歓声をあける顔、顔、顔。

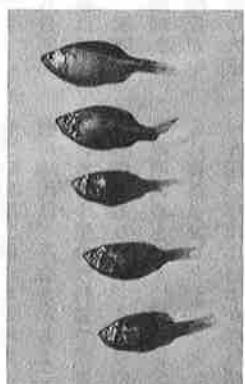
どうぞ多くの思い出とあなたかい貴
町の人情に接し、さらにまた帰
村のためバス出発の際には、思
いがけない大せいの方々の熱烈な
お見送りをいただき、感激、
誠に恐縮の至りに存する次第で
す。

途中事故なく無事野沢へ到着
出迎えの父兄の方々に御宿町で
受けた厚い待遇を報告し、子どもたちをおかえしました。

貴町のみなさまのご厚意に深く感謝の意を表し、お礼の言葉を述べました。心あたまる心でふれあうことがで
きたようこびを双方の関係者、子
どもたちがたんのうできたようす。
おせい見守るなかファイナーレを迎
えました。

幻の魚みつかる

ミヤコタナゴ



淡水魚。土地開発や水のよごれ農薬の使用などによって、絶滅したといわれていました。

ミヤコタナゴは四~六月に小型のマツカサガイの体内にだるま形の卵をうみつけます。

この時期のおすは、しりびれと腹びれのふちに、だいだい色と黒で美しくいろいろとあります。

氏Bでもまたもとの氏Aでも、いずれをなのつてもよいことになりました。

「わたしのが御宿町へ越してきたのが四十三年五月、以前、東京にいるところから道場で練習を重ねていたが、その時から少年たちとまじわる機会が多かつた」

「少年に剣道を教えたいといふ直接の動機は？」

「子どもが大好きでね。剣道のケンの字も知らない子どもさん相手だから。気違ひといわれるくらいでないとできない。妻たよ」

「剣道を通して子どもにどんなことを教えるのですか。」

「集団生活ですからいろいろなことがあります。」

団体紹介②

剣の道で人間教育 情熱ぶつける井田さん



きょうも練習に励む少年たち

御宿少年剣道クラブが誕生したのは、四十八年です。このクラブの生みの親ともいえる井田さん

にクラブ誕生のいきさつなどきいてみました。

「わたしのが御宿町へ越してき

たのが四十三年五月、以前、東京にいるところから道場で練習を重ねていたが、その時から少年たちとまじわる機会が多かつた」

「少年に剣道を教えたいといふ直接の動機は？」

「子どもが大好きでね。剣道のケンの字も知らない子どもさん相手だから。気違ひといわれるくらいでないとできない。妻たよ」

「剣道を通して子どもにどんなことを教えるのですか。」

「確かにそのとおりで、少年たちの家庭や親の理解は大へんなものです。ですからチームワークもばつぐんです」

「他の都市との結びつきもできてきたし、これからもどんどん其他流試合をふやしたい」

「少年たちの剣道好きもさることながら、周囲の理解も大切だと思います。」

「確かにそのとおりで、少年たちの家庭や親の理解は大へんなものです。ですからチームワークもばつぐんです」

住民票は二百円に

手数料条例を改正

町の手数料条例が七月一日から改正され、住民票の贈抄本の枚数

に関係なく一通につき二百円に、他の証明なども一件につき百円となりました。

◇いままで

氏Aの人が婚姻により氏Bにな

り離婚すると、もとの氏Aにもどらなければなりませんでした。

◇改正後

本人の希望（届出）でそのまま



氏はそのまま

でもいい

離婚した女性

ありました。

◇他の改正点

死亡届けの届出義務者の第一順位は同居の親族でしたが、同居をしていない親族でも届出ができるようになりました。

「少年に剣道を教えたいといふ直接の動機は？」

「子どもが大好きでね。剣道のケンの字も知らない子どもさん相手だから。気違ひといわれるくらいでないとできない。妻たよ」

「剣道を通して子どもにどんなことを教えるのですか。」

「確かにそのとおりで、少年たちの家庭や親の理解は大へんなものです。ですからチームワークもばつぐんです」

「確かにそのとおりで、少年たちの家庭や親の理解は大へんなものです。ですからチームワークもばつぐんです」

「確かにそのとおりで、少年たちの家庭や親の理解は大へんなものです。ですからチームワークもばつぐんです」

「確かにそのとおりで、少年たちの家庭や親の理解は大へんなものです。ですからチームワークもばつぐんです」

「確かにそのとおりで、少年たちの家庭や親の理解は大へんなものです。ですからチームワークもばつぐんです」

◇その他の証明（一件）百円

◇住民票の写し（一通）二百円

◇住民基本台帳の閲覧（百世帯以内で五十世帯をますごとに一件）百円

◇他の証明（一件）百円

（9） みんなの広報

御宿の誇り

五倫文庫

を知ろう。

私たちの町御宿は日本に誇る、いや世界に誇ることのできる数多くの文化的象徴をもつた町です。その第一は岩和田の岬に白い美しい姿をみせる日西墨交通発祥記念塔です。周知のことですが、まだ外国人にはほとんど接したことのないわれわれの先祖が遠い国スペイン、メキシコ人の難儀を、親身になり世話をしたことが時の政府に感謝の塔を作らせたということはわれわれの祖先が人類愛にとむく

スモポリタン（国際人）としての高い文化センスをもつていたことの証拠ともいえましょう。

その第二は、自分達の力による教育の場、小学校の再建です。

明治三十八年九月二十八日房総をおそったものすごい台風はいたところに猛威をふるい、倉庫一棟を残し、全校舎三棟が倒壊されました。時の伊藤鬼一郎校長が中心となり、明治四十一年から大正三年まで日掛貯金を行い、立派な

校舎再建へとこぎつけたのです。

昭和五十年五月に完成された御宿の場として使命を果し現在は鉄筋コンクリートの立派な校舎として生まれ変わりました。更に御宿町は他町村に先がけ女子のための高等教育の場を小さな自治体御宿町の力によって作つたのです。これは現在御宿家政高校として残っています。町の中心にある五倫こう

小学校、浅間様の下にある中学校高山田の入口の丘に高くそびえる高等学校に私たちの父母、祖父母の教育の重要さに目ざめていた姿をみつけたのです。

さらに私たちの文化性とコスモポリタン性は、私たちの第三の誇



貴重な文庫資料がぎつしり

左表の「五倫文庫 国別、時代別、学校別分類表」を見てください。まず日本の欄は徳川時代、明治時代、大正時代、昭和第一期（戦前）、昭和第二期にわかれています。徳川時代は、みなさんもよく知っている寺小屋の教科書で図書室の展示欄にあります。これらの内容の説明は章をかえて行います。さ

日本の中、高等学校の教科書はこれらのが義務教育になったります。

日本の中、高等学校の教科書はこれらのが義務教育になつた伊藤庸二博士の力によるところが大であったのです。

さてみなさまに五倫文庫がどんな本をもつているか、概略おわかりいただけたと思いますので、次にどんな寺小屋の本があり、それはよそにくらべるとどうかなど、

あるいは外国の教科書にどんなものがあるかなど順次お話しを進めいくつもりです。

には当然必要と考えられます。私たちは調査はまだ完全ではないの

で遗漏はあるかもしれません、じのようにこの館にはいろいろな民俗資料を集め教育の具にするとともに、伊藤家に古くから伝わる国内と海外の教科書二万冊余をもとに設立された五倫文庫が收められています。この文庫は次の時代をなう青少年の教育研究に貴重な資料を提供できると内外の注目を集め始めています。五倫文庫の教育のための全教科を集めている文庫は、それらの教科書を研究し将来の私たちの子孫の教育を正しい方向にむかせ、発展させるため

では五倫文庫がどんな本をそろえ、どのようにして集められ使われるかなど述べてみましょう。

昭和51年1月

五倫文庫 国別・時代別・学校別・教科別 分類表

財団法人 五倫文庫

国 籍	年 代	小 学 学 校												高 等 学 校													
		全 身 教 授	國 家 語	外 國 語	習 字	理 學	史 科	理 學	史 科	理 學	史 科	理 學	史 科	理 學	史 科	理 學	史 科	理 學	史 科	理 學	史 科	理 學	史 科	理 學			
日 本	明 治 時 代	51	21	16	1	2	5	5	10	9	80																
	大 正 時 代	26	23	211	18	93	82	25	5	31	7	4	1	2	4	22											
	昭 和 第一期	15	64	36	28	20	12	28	8	3	35	9	30	1	8	12	5	6	1	8	4	1	1	3	2		
	昭 和 第二期	1	65	61	15	44	57	42	19	5	5	13	85	391	62	69	13	64	716	690	242	320	243	124	107	93	
ア ル テ ジ	1901～1950	4	11																					238	447	41	
ペ ル ギ ー	1951～	18	56																						24	17	55
ブ ラ シ ル	1901～1950	5	1	10	25	6	8	5	5																		
カ ナ ダ	1901～1950		3																								1
中 华 民 国	1901～1950		2	9		2	1	6	2	1																	
韓 国	1901～1950		1	5		1	1	1																			
(朝鮮)	1951～		8																								
ド イ ツ	1901～1950		23		22	2	3	4		2																	
1951～		16	3	14	10	4	6		2	1																	
英 国	1951～		1	1	6	4																					
（日本語）	1951～		29																								
オ ラ ン ダ	1901～1950																										
イタリ ー	1951～	3	6		3																					5	4
满 洲	1901～1950	2	9	42		15	2		3	3	13	12															
南 洋 厅	1901～1950		18																								
蘭	印	1901～1950		17		2																					
ルーマニア	1901～1950	31	29	12	4	39	25		2	3																	
U S A	1951～	1	28		2	9	3	6	1	3																	
U S S R	1901～1950		54		10	8	5	2	2	1																	
ス イ ス	1901～1950																										
トルコ	1951～		5																							3	
チ リ ピ 亞	1951～		3																								

